



TITLE:

雪害全般についての実態

AUTHOR(S):

松田, 宏

---

CITATION:

松田, 宏. 雪害全般についての実態. 2014: 共同研究（一般研究集会）26K-06.

ISSUE DATE:

2014-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/197360>

RIGHT:

## 1章 自然災害概説

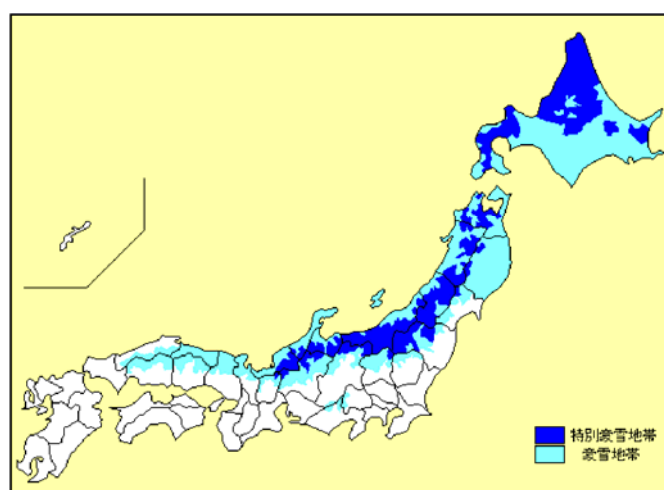
# 雪 害

国際航業株式会社

松田宏

### 日本で雪が降る地域

豪雪地帯及び特別豪雪地帯指定図



北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 栃木県 群馬県 新潟県  
富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 滋賀県 京都府 兵庫県  
鳥取県 島根県 岡山県 広島県

## 積雪地域の定義

- ・雪国の人口;22.1%(積雪寒冷特別地域)
- ・雪国の面積;61.6%(積雪寒冷特別地域)
- ・積雪寒冷特別地域とは

積雪から道路交通の確保を要する地域で2月の積雪の深さの最大値の累年平均が50cm以上、または寒冷地域(1月の平均気温の累年平均が0℃以下)

>豪雪地帯;一冬の毎日の積雪の累計が5000cm以上(積雪30年以上の平均)

>特別豪雪地帯;豪雪地帯のうち積雪量が特に多く、交通途絶等、住民生活に著しい支障が生じ特別の施策が必要な地域

あわせて、903市町村

## 典型的雪害(地域性がある)

- ・風雪、融雪
- ・除雪事故(道路、歩道、屋根雪など)
- ・集落孤立、建物破損、屋根雪、歩行困難
- ・凍上、着雪氷
- ・電力通信(送電線)、農業施設等の破損
- ・交通事故(スリップ事故、なだれ、吹雪など)
- ・交通渋滞、麻痺
- ・山林被害
- ・いずれも長時間(一冬)継続する

## 都市雪害の背景

- ・産業構造の変化
- ・生活行動の広域化
- ・人口の流動化（地域の過疎化と都市への集中）
- ・都市の空間構造の変化（耐雪空間の減少など）
- ・家族構造の変化（核家族化、少子高齢化）
- ・コミュニティの衰退
- ・2014/2月の例のように積雪地域ではないところに短期集中大雪があると、大混乱が起きる。

## 身近な雪害から身を守る

- ・除雪事故（巻き込まれ）
- ・屋根雪からの落雪
- ・屋根からの落下
- ・歩道、車道歩行時の事故
- ・スリップ防止
- ・レジャー（スキーでのなだれ遭遇）
- ・吹雪時の外出控え
- ・その他
- ・非積雪地域の降雪、積雪対策、備え